

令和元年度和歌山県文化功労賞

いし ぐろ
石黒

さやか
晶

住 所 大阪府大阪市
出身地 和歌山県和歌山市
生 年 昭和29年

◎ 業績及び経歴

昭和29年和歌山市に生まれる。東京藝術大学音楽学部作曲専攻卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。沖縄音楽に取材した「三つの沖縄の歌」と続く「宮古島の二つの歌謡」で創作・発表活動を開始した。

「ハッシャバイ・ソングス」など多数の作品が出版及びCD等で発表されるとともに、J C D A合唱の祭典・おかあさんコーラス全国大会など国内外のさまざまな場で演奏されている。

氏の声楽曲は民俗素材を用いた作曲と現代詩歌への付曲という二つの方向性を持っている。代表作の一つ「紀州うた拍子」「紀伊のこどものうた遊び」「紀伊の国のうた拍子」の三部作やアイヌの素材による「タプカル・キ・キ」は民俗的色彩にあふれ、また谷川俊太郎、まど・みちおの詩による歌曲では洗練された詩句に繊細な音で寄り添っている。

平成25年日本を代表するプロ合唱団である東京混声合唱団により委嘱初演された「愛のうた 恋のうた」は、氏の創作の方向性が一つの結実をみた作品である。さらに翌平成26年には5年の歳月をかけ作曲した Hi's Opera Company 委嘱のオペラ「みすゞ」が新国立劇場で初演され、氏の集大成として音楽誌上でも高い評価を受けた。そのアリアは、ブラジルサンパウロでも再演されている。

器楽分野では「弦歌三章」が平成31年3月米国ニューヨークのカーネギーホールで上演されスタンディングオベーションを得るなど、優れた演奏家によってしばしばプログラムに加えられ、国際的にも高い評価を受けている。

神戸女学院大学で音楽学部長、大学院音楽研究科長、作曲主任を務めた。NHK学校音楽コンクールや全日本合唱連盟等の審査員を務め、後進の指導にも尽力している。

氏の作曲家、指導者としてのこれまでの功績は、誠に多大である。

■現在

- ・作曲家
- ・神戸女学院大学名誉教授

◆主な表彰歴等

- | | |
|-------|--|
| 昭和57年 | 東京藝術大学大学院修了作品を同大学が買い上げ「三つの沖縄民謡」 |
| 昭和61年 | 第10回神奈川芸術祭合唱コンクール入選
「きいろいふうせん」 |
| 平成18年 | 第17回朝日作曲賞入賞
「紀伊の国のうた拍子」 |
| 平成19年 | 第34回グイド・ダレツォ国際作曲コンクール入賞
“A Song of a Weaving Shed - from the Ballad of Miyako Island -” |
| 平成21年 | 第16回旧東京音楽学校奏楽堂日本歌曲作曲コンクール入賞
「これが私の優しさです」 |
| 平成26年 | 和歌山県文化奨励賞 |